

異世界の女たち

6.0

ショタ
おね
おねショタでは
ありません

ショタ
攻
ショタおねです
注意してください

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止







僕はエルフと
付き合っている

なぜ小さくて
弱そうなの
冒険者の僕が

エルフと
付き合えたかと
言うよ…

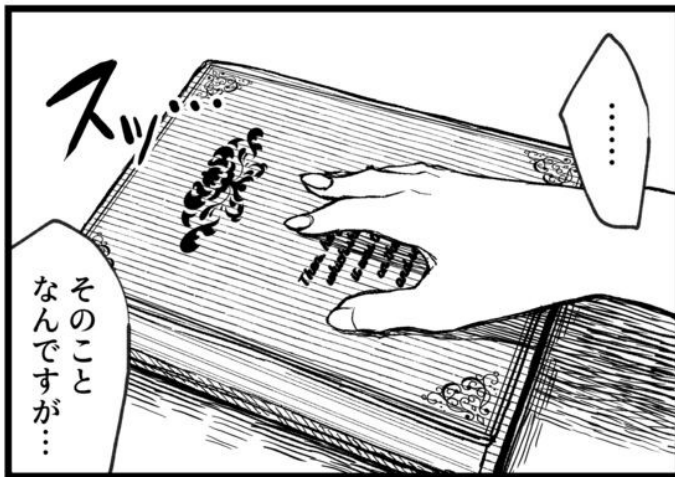


エルフさんー



何言ってるん
ですか…!!

だって僕たち
付き合ってるんですよ?



そのこと
なんですが…



お付き合いって
したことがなくて…
何したらいいのか…

私としては…

一緒に読書とか…
本の話とか…
したいな…とか…

その…



彼女が太くて地味な
エルフだからだ

また…

今日も来てくれたん
ですね…嬉しい…

エルフはとても美しく
若々しい外見を持っている
というのが一般的な常識だ

だから目も小さく身体も太い
彼女はエルフラしくくない
つまり「モテない」のだ。

あー気持ち良い！…

相変わらず
お尻でっか…

エルフなのに…

気に…っしてるん
ですから…ッ

言わないで…んっ
ください…っ…





こんなエッチなエルフを
ほっておくなんて…っ
見る目なすぎ…っだよっ

えっちじゃ…
ない…っですよ…

私…太ってるし…っ



そんなこと
ないよっ



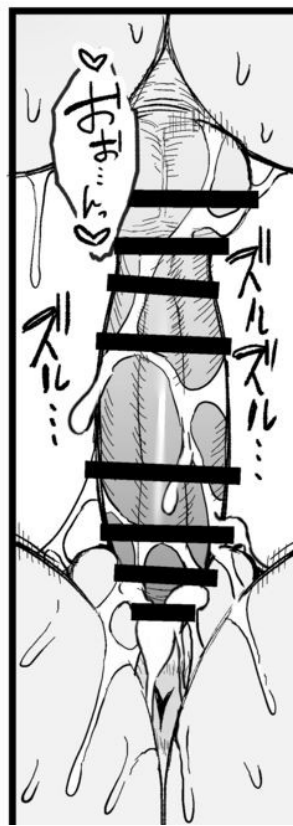
身体ばっかり…


褒められても…っ

嬉しく…
ないです…っ



でっかいお尻も
おっぱいも最高だよ






さつきも無理やり
ちんぽを挿れたら
なすがままに
ヤらせてくれた

強く頼まれたり
するのには
弱いみたいだ



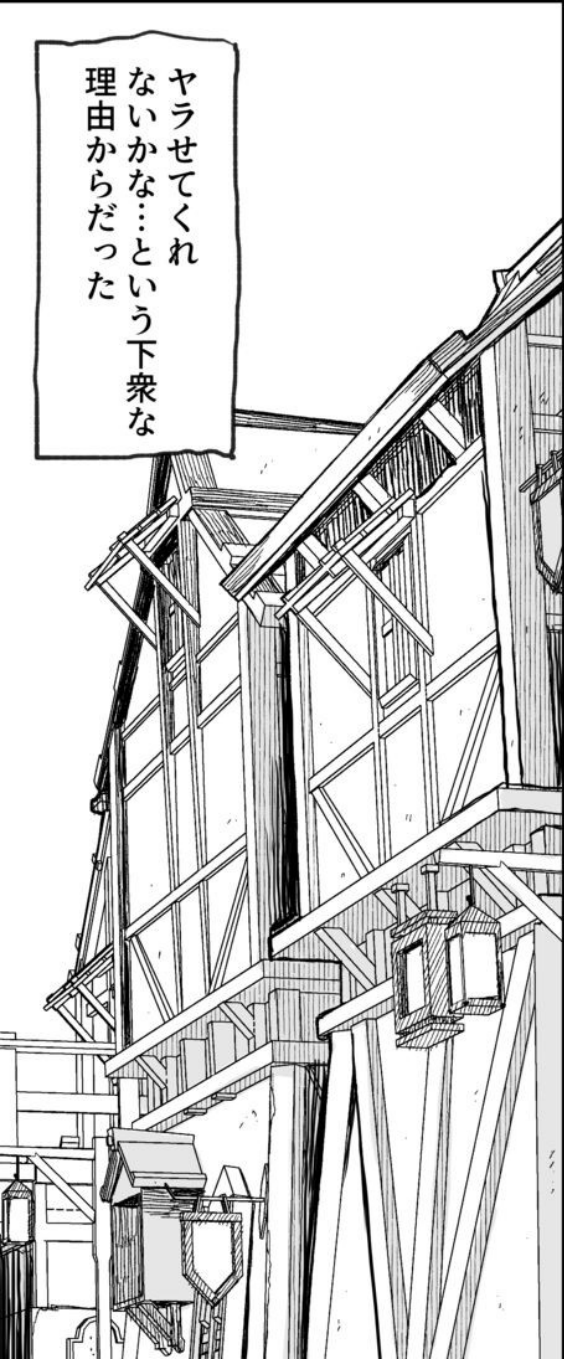
.....

やっぱりデカイ！



僕が彼女に声を
かけた理由は
ちよろそうだったから

いつも独りで暗そうだし
大人しそうだったから



ヤらせてくれ
ないかな...という下衆な
理由からだった



本当に男に免疫が無いのか告白したら滝のような汗を流して狼狽していた

お願いします!

わ、私ですか...?

お願いします!

ええ...

可愛い!!

ええ...

お願いします!

ううん...

死ぬほどお願いしたら付き合ってくれた



付き合った流れで彼女の宿でやれた

わ...

私なんかで... 良ければ...

えっと...

よろしく... お願いします...

あ...

断るのが苦手そうなので死ぬほどお願いした

もちろん彼女は
こういった経験も無く
されるがままだった

ちよ…

ちよつと
待って…っ

彼女の女性器は
温かくヌルヌルで
とても気持ち良かった

初めての感覚、快楽に
夢中で腰を振っていた

あ…

エルフさんっ

エルフさんっ

あ…

あ…

あ…

ハァ
キョ
ハァ
キョ

ハァ
キョ

ハァ
キョ

ハァ
キョ
ハァ
キョ

ハァ
キョ
ハァ
キョ

ハァ
キョ
ハァ
キョ

気づけば彼女の膣内に
射精していた
本能なのか、とにかく
奥に一滴残らず射精した

ん...あ...
フッ
フッ
ん...あ...
フッ
フッ
ん...あ...
フッ
フッ

大きな喘ぎ声は
出さなかったけど
奥に射精した時に
強く締め付けてきた

体を震わせながら
静かに彼女も
イッていた

あー...
気持ち良すぎる...

これでもう
童貞じゃないんだ...

今度から
やりまくるぞ...

へへ...

はあ...

エルフさん〜！

お付き合いを
することになって
数日…

経験のない
私にとってはすべてが
新鮮でした

ニヤニヤ

いつになっても
未知を知るのは
ワクワクしますね

今日も…
いいでしょ？
ねっ？

えーと…

え…？

ヒトより永い時を
生きる我々
エルフにとって

でも最近
私の身体ばかり
求められます…

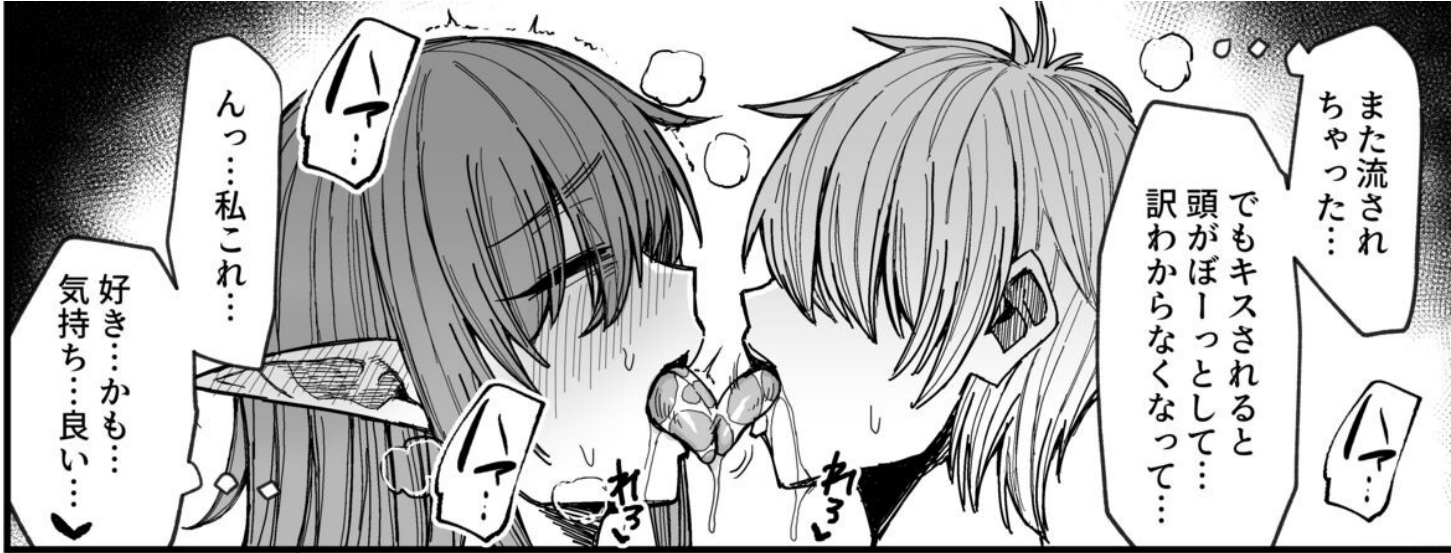
嫌…ではないのですが
そういうもの…
なのでしょ…？

天気も良いですし
お外にでも
行きませんか…？

エルフさんの
部屋に行きたいな

ええ…っ…

「交わり」は
重要視されてません
でしたが…



また流され
ちやった…

でもキスされると
頭がぼーっとして…
訳わからなくなつて…

んっ…私これ…

好き…かも…
気持ち…良い…



こんな小さい子に…
覆い被さられて…

無理やり…口を…
舌を…貪られて…

好き放題…
されてるのに…

キス…
気持ちいい…

ふー…もう挿入したい
から四つん這いにな
ってくれない？

あ…

はい…



この日も「デート」というものはありませんでした

朝から一日中…彼は私の身体を犯し続けていました

まんこ…

はっ…あ…

まんこ…

はま

はま

あ

はま

ガシ

ガシ

ガシ

ガシ



恋人とはこういうものなのでしょうか

はま

はま

いん

あ

いん



経験のない私にはわかりませんが…

あ…

気持ちいい、エルフさんも気持ちいい？

は

はい

今度恋愛小説でも読んでみようかな…



あ

ほち

ほち

ん

ほち



エルフと人間との間：
異人種の交配では子供が
できることは希ですから：

彼は知ってるため
お構いなしに私の膣内に
射精するでしょう：
また…ハア…っ

射精すよ…っ

…っ

は…い…っ

射精っ…して…



子供はできない
とは思いますが…

あつ…もう…
外…っに射精し…っ

…っ



繁殖のための交尾ではなく
ただ快樂のための交尾…

あー射精る

射精る…



あー射精た...

膣内出しきもち...

あっ!!

びゅ...

びゅ...

ぐ...



やばっ

ギルド来いって
言われてたんだ!!

ごめんエルフさん
ちよつと
行ってくる!!

あ...

は...

結構
汚しちゃったけど
後片付けよろしく

びゅ...

びゅ...

ぐ...

ぐ...

びゅ...

びゅ...

ぐ...

びゅ...





えっと…

すみません…

ま、待ち合わせ…

しるるん…



おっぱいでっか…

えー？
でもずっとここで
待ってるよね？

そうそう

もう来ないでしょ
俺たちと行こうよ

たまんねえ…



すごい…いい視線…

見られてる…

ヒト族の雄の…
視線……

ごめん…なさい…

わ…私もう少し…
待つ…の…

私の身体…

この人たちは…
私と…



私と…
セックス
交尾したいんだ

エルフさん
お待たせ!!



あつあのそれより
やっぱりこの服…?

露出が激しすぎ
じゃないですか…?

もし…

そんなことないよ
大丈夫だよ

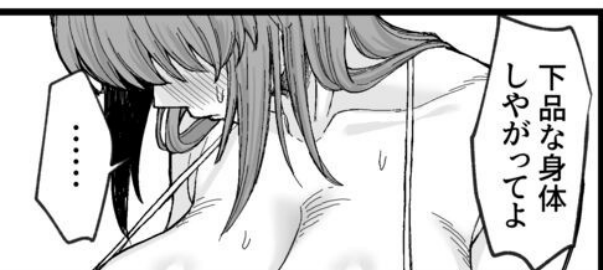


待たせて
ごめんね

依頼が
面倒でさ…

あつ…いえ…

ムキムキムキムキ



下品な身体
しやがってよ



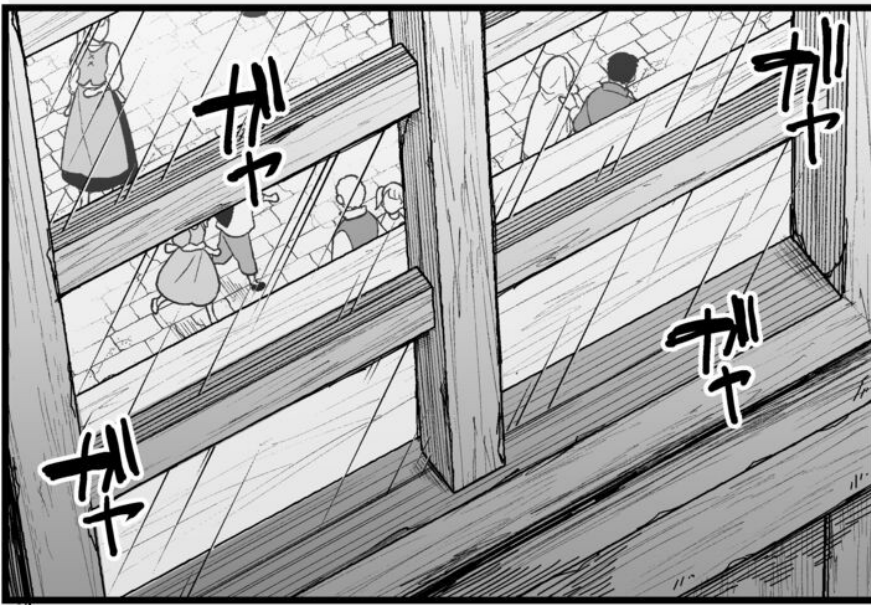
なんだよ
地味なくせに
男いんのかよ

声かけて損したわ
行こうぜ

ああ…



あー
つまんねえ…



それにしてもよ

さっき見たエルフ
やっぱり無理やりにも
犯しとけばよかったなあ...

ほー...

まだ言ってる
のかよw

カカカ

だってよー
見ただろあの
デカパイ...

まあえつろい身体
してたなあ...

ぶん殴って
ちんぽめちやくちや
舐めさせてえ...

いいなそれw

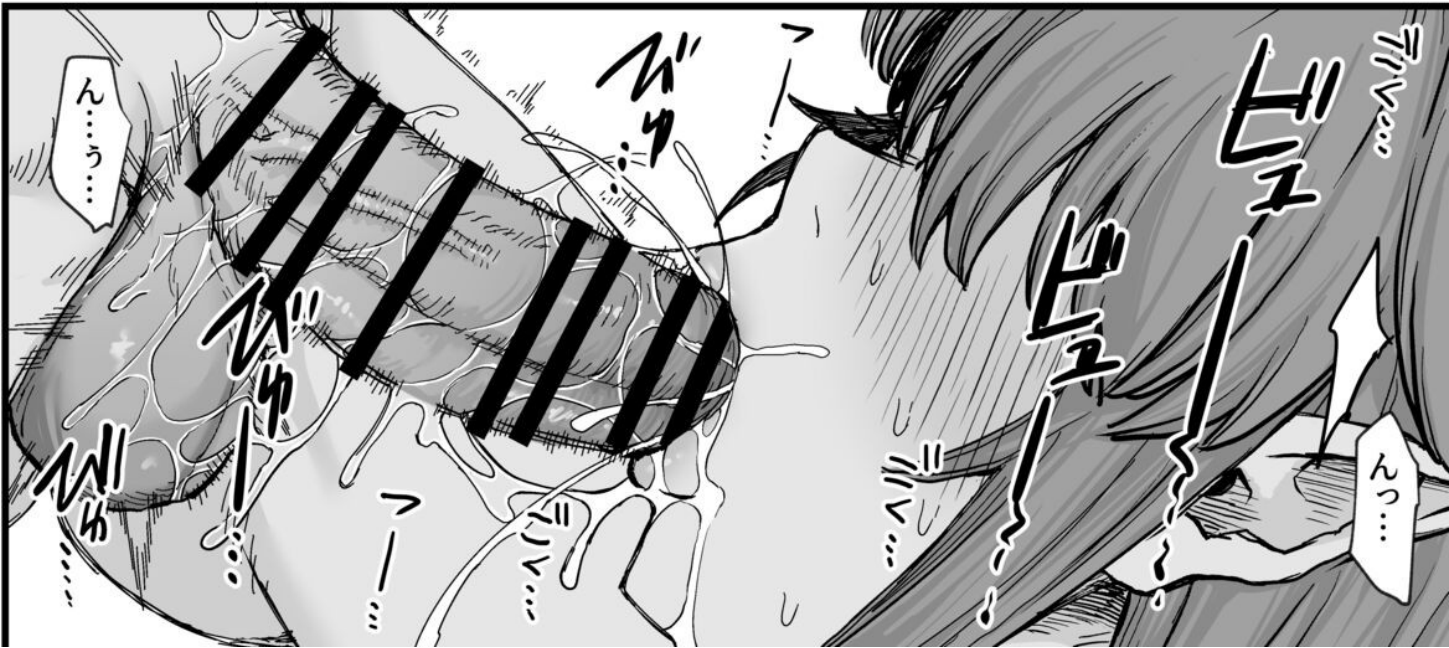


私が男たちに
言い寄られている様を
見ると興奮するそうです



彼はたまに私を…
外で裸のような恰好で
待たせます







そして
射精し終わったら…

ほら

エルフさん
いつもの…♡

あ…



…
わ…



彼が射精したら彼の
精液を一滴残さず
飲み干します…

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

あ…w
エルフの口まんこ

気持ちいい…

プー

ゴゴゴ

ゴゴゴ



使って

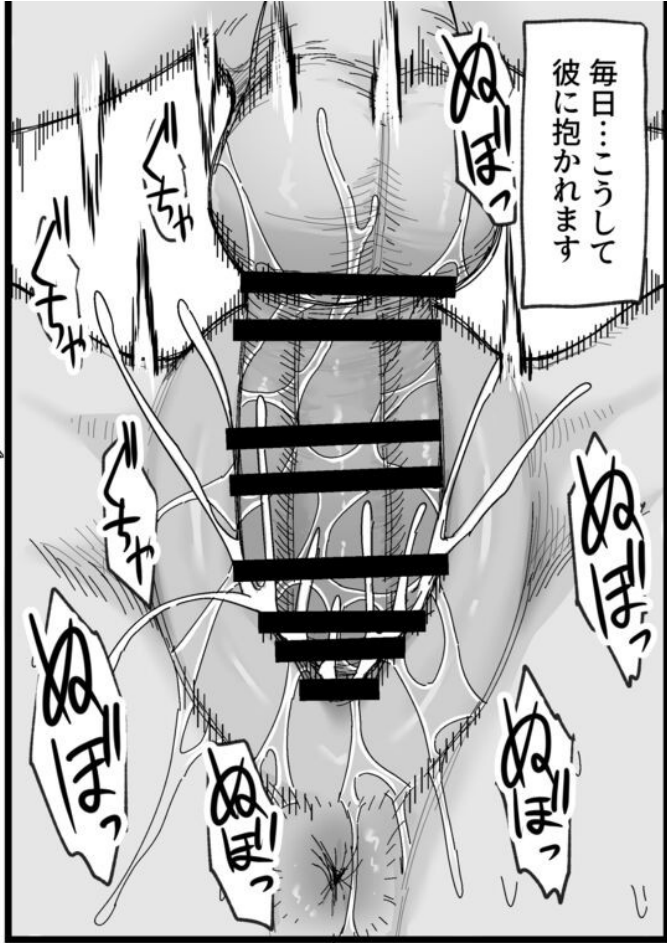
私…の…
おまんこ…

くたさい…

クキ



といつても私の体で
一方的に性欲処理
しているのですが…



毎日…こうして
彼に抱かれます



最初は体ばかり
求められ

戸惑いましたが…





さっきのやつら見た？

エルフさんの体めちやくちや見てたよ

それ以外も通行人みんなおっぱい見てたよw

まあこんなえつろい体してたら当たり前だと思っけどw



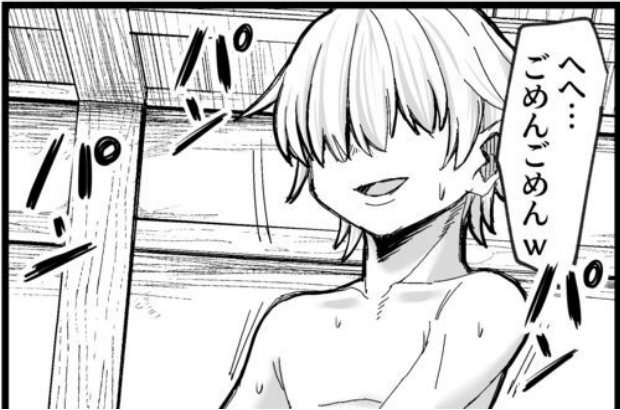
やめて…ください…

すげべじゃないです…



やりたかっただろうなー

このドスケベエルフとw



へへ…ごめんごめんw



毎日彼に体を使われる度…
気づけば私も快楽に
身をゆだねていました…









イってきます…ッ

グッ

グッ

グッ

グッ

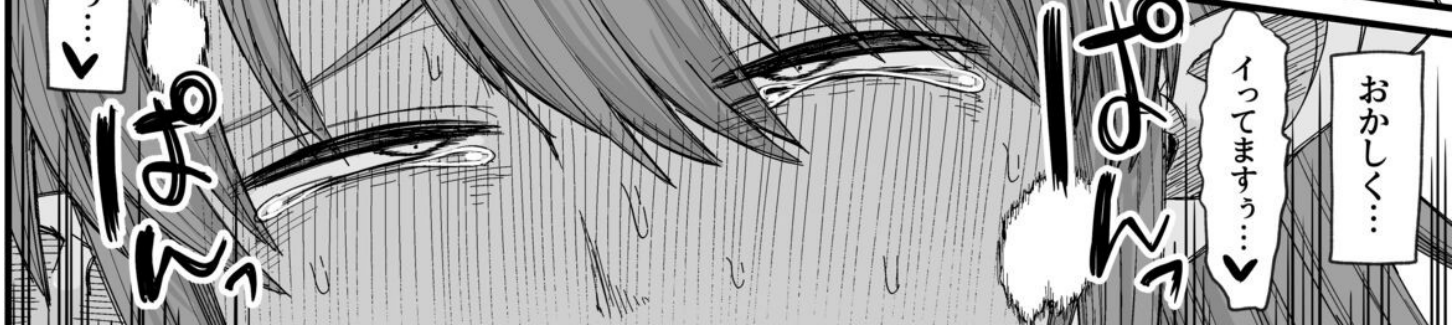
イって…
ますう…ッ



あっ

あっ

あっ



おかしく…

イってきますう…

なるう…



ちんぽ…っ

はあーッ

はあーッ

ちんぽ…っ

はあーッ

ちんぽ…っ

だぼん

ブルン

だぼん

だぼん

ほちゅ

だぼん



今日だって本当はみんなに見られて興奮してたんじゃないの？

みんなエルフさんにちんぽ突っ込みたいって思ってたよ

正直に言いなよ嫌になんてならないからw

…っ

すっ

はあーッ

はあーッ

すっ

すっ





地味で友達も
いないのにこんな
下品な体して

僕がまんこ使って
あげなかったら
ずっと独りだよ？

あっ…

しめんなれご…ッ

しめんなれご…ッ

ひ…イッ

うっ



捨てないで
くださいイッ

はは
がつつきすぎw

ちんぽ…

ちんぽ…

んっ

んもっ



まんこ好きにして
良いからあ…ッ



イグツ...

おまんこ
ちんぽでほじられて
イグツ...

イグツ

ホッ

人間の
せいでイグツ

小さい子供のちんぽで

ホッ

ホッ

ホッ



多分彼は私に
声をかけてきた時から
こういうことが目的だったと
今では思います

は

は



…私はいつもひとりだし
暗いし…地味だから

あの…



それでも声を
かけてくれたのは
嬉しかったのです

…好きです

次はどんな交尾を
するのでしょうか

は

は

少し…楽しみです…

突然なに!?



あとがき

冬は6.0、8.0、9.0とか頑張っただけならなあと思います。

! ?

何を考えてるんでしょう夏の僕は
3冊…!?

正気ではない…

1冊でもうへとへとでした…でも代わりにページ数は
かなり増やしたので許してくれたら…

というかちょっと途中で絵が変わりすぎてる気も…
しますね…すみません…遅筆で…頑張ります…

身近に地味なエルフ住んでないかなあ!?!?!?!?!?



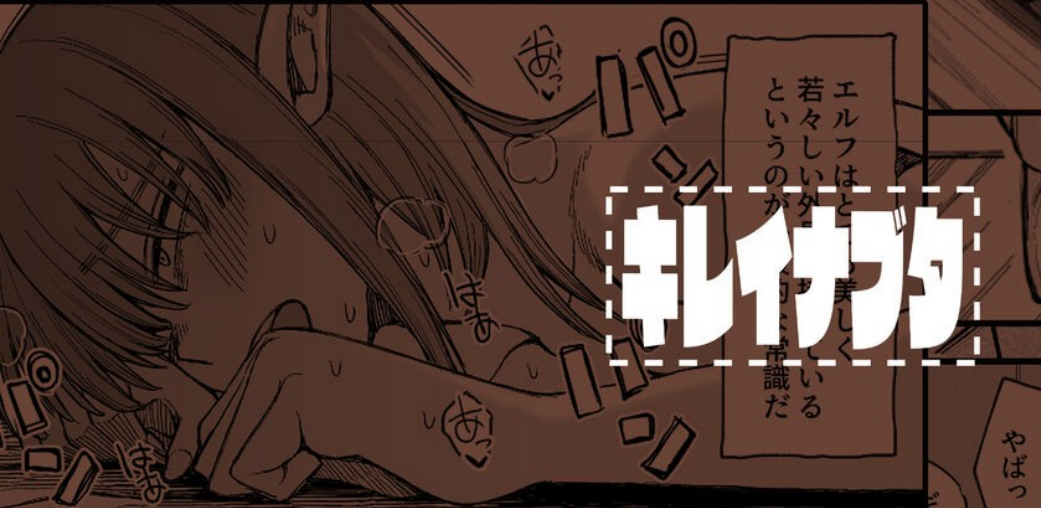
異世界の女たち6.0

2023年12月31日発行 同人誌印刷.com 様 初版

発行：キレイナブタ
ぶたちゃんぐ

Twitter : @butachang_zatu

Mail : sakuratya777@gmail.com



お礼付け

